

令和4年度「やまがた緑環境税」活用事業（ハード） 取組みの考え方

資料2-1

(単位：千円)

区分	事業名	担当課	事業の概要	R3事業量等 (年間計画)	R3当初予算額 ( )は国庫補助含みの額	令和4年度の事業取組みの考え方
I 環境保全を重視した 施策の展開	① 環境保全を重視した森林整備の推進					
	□ 荒廃森林緊急整備事業	森林ノミクス推進課	長期に管理放置された森林を整備し、森林の公益的機能を確保			全体計画の達成に向けて、着実に森林整備を進めたい。
	人工林整備		スギなどの人工林を整備し、公益的機能の確保及び維持を図る	685 ha	220,465 ( 306,970)	水源かん養機能、土砂流出防止機能等の公益的機能の維持増進と持続的な発揮を図るため、手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林を対象に、間伐や森林作業道の開設などを行いたい。
	○ 手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備		やまがた緑環境税による整備	318 ha	178,738	
			国庫補助事業を活用した整備 (森林環境保全直接支援事業、林業・木材産業成長産業化促進対策事業等)	367 ha	41,727 ( 128,232)	
	里山林整備		病虫害被害木の伐採等	380 ha	270,619	病虫害等で活力が低下した里山林の公益的機能の再生を図るため、枯損木・被害木の伐採や補植を行いたい。
	○ 病虫害等で荒廃した里山林の再生	・ 病虫害や風雪害等により、自然回復出来ない里山林の整備	329 ha	233,088		
		・ 森林景観整備・人と動物との共存林整備(市町村補助)	51 ha	37,531		
		(小計)		1,065 ha	491,084 ( 577,589)	
	② 森林資源の循環利用の促進					
	□ 森林資源再生事業	森林ノミクス推進課	森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築	86 ha	13,768	公益的機能の持続的発揮のため、再生林の支援を実施したい。併せて、再生林の低コスト化に向けた実証事業を行いたい。
			・ 国庫補助事業に連携した再生林に要する経費の嵩上げ補助	85 ha	11,929	
			・ 国庫補助対象とならない箇所の苗木購入補助	1.00 ha	381	
			・ 再生林の低コスト技術の実証	( 3ha )	1,458	
	□ 森林資源循環利用促進事業	森林ノミクス推進課	間伐材等を、ラミナ、合板等用材やチップ、ペレット等の木質バイオマス燃料用材として利用するための搬出への支援	49,000 m <sup>3</sup>	25,900	環境に優しい資源循環型社会を構築するため、間伐で発生する低質材の搬出支援を行いたい。
		① ラミナ・合板等用材	29,000 m <sup>3</sup>	14,000		
		② 木質バイオマス燃料用材	20,000 m <sup>3</sup>	11,900		
□ 広葉樹林健全化促進事業	森林ノミクス推進課	ナラ枯れ被害木を含むナラ林の伐採によるチップ等への活用に併せ、害虫の駆除とナラ林の若返りを図るため、搬出等を支援	800 m <sup>3</sup>	800	ナラ枯れ被害木を含む広葉樹林を伐採し、害虫の駆除と合わせて森林の若返りに取り組みたい。	
		・ 伐採搬出及び作業道設置に対する補助	800 m <sup>3</sup>	800		
	(小計)			40,468		
I (ハード事業①+②)計	計			531,552 ( 618,057)		